

平成28年2月7日

東部農林振興センター出雲事務所農業普及部

標 題	集落営農のこれからに向けて ～平成30年を見据えて経営の多角化を推進～
-----	--

(ダイジェスト)

1月17日、出雲市内において出雲集落営農組織連絡協議会及び斐川町集落営農組織連絡協議会の共催により、平成30年の農政改革を見据えた研修会が開催されました。

当日、農政局から今後の国の施策について報告された後、普及部からは、「集落営農のこれからに向けて」と題して経営の多角化が成功するためのポイントについて話題提供しました。

その後の交流会では、参加者から「今、大事なテーマ」「参考になった」「もっと話が聞きたかった」等の感想が寄せられ、関心の高さがうかがわれました。

この研修会で普及部からは、今年度からスタートした出雲圏域の第3期戦略プラン「水田農業持続・発展モデル育成プロジェクト」において、関係機関と共に検討してきた内容を情報提供しました。本プロジェクトでは、平成30年の農政改革を見据えた水田農業モデルの育成に向けて、①米価下落への対応、②生産コストの低減、③経営の多角化の3つの視点から検討を進めており、特に経営多角化については、組織内での生産体制づくりや品目選定の観点から管内の事例を基に、具体的な取り組みの工夫や成功のポイントについて紹介しました。

まだ、検討・整理段階の内容も多数ありますが今回のような研修の機会を捉えて、生産者に提示し、ご意見をいただくことで更に検討を深め、わかりやすく整理していきたいと考えています。



<研修会の様子>

<研修会資料の一部>

**チェックしましょう！
それによってやり方が異なります**

Q なんのために多角化を考えていますか？

- 若い専従者の所得を確保するために
- 女性・高齢者・地域の元気のために
- 米に替わる収益部門づくりのために



**それぞれに対応
した管内事例と
取り組みのヒント
を紹介**